単一の含硫アミノ酸から 多彩なキラル金属化合物を創る

講師: 今野 巧 先生

(大阪大学大学院理学研究科·教授)

日時: 7月6日(金) 16:30~18:00

場所: 理学部2号館4階9講義室

【ココがポイント】

金属錯体の集積化による超構造の構築は、材料化学分野でホットなトピックとなっています。今野先生は、金属原子の性質を深く理解し使いこなすことで、単純なたった一つの配位子を使って多様な構造を創り出す研究を行っておられ、特に、硫黄を配位子として用いた錯体化学の第一人者です。原子・分子の性質を理解し、超構造を組み立てることは、まさに化学の醍醐味で、面白い構造を持った錯体の × 線結晶構造の数々は理屈抜きでどなたでも楽しめる美しさを持っています。金属の持つ意外な性質や錯体の構造などは、多くの化学系研究者の研究のヒントになることと思います。ふるってご参加ください。

問い合わせ先 岡山大学大学院環境学研究科 高口 豊 (yutaka@cc.okayama-u.ac.jp)

本講演会の前に、同じ教室で午後3時より、講演会「M-C結合を持つトリポッド錯体の化学」木下 勇 先生(大阪市立大学 教授 複合先端研究機構 機構長)(世話人:大学院自然科学研究科 鈴木孝義先生)が開催されます。あわせてご参加下さいますようにお願い申し上げます。